

小矢部市まちづくり研究会（第3期生） 第1回会議次第

日時：平成22年7月1日(木)
午後7時～

場所：小矢部市役所2階特別会議室

<開会>

1 桜井市長 あいさつ

2 委嘱書の交付

3 委員自己紹介

4 事務局員紹介

5 説明事項

(1) 小矢部市まちづくり研究会の設置等について

6 協議事項

(1) 今後の運営等について

(2) 次回の(全体)会議日程について

— 移動 —

7 市長との懇談会(会場：ばんば、開始予定時刻：午後7時40分～)

8 閉会のあいさつ

<閉会>

小矢部市まちづくり研究会（第3期生） 第1回会議配布資料一覧

1 会議次第

2 配布資料

- ・資料1・・・小矢部市まちづくり研究会設置要綱
- ・資料2・・・組織図
- ・資料3・・・小矢部市まちづくり研究会の研究内容等
- ・資料4・・・委員等名簿
- ・資料5・・・活動スケジュール（案）
- ・資料6・・・活動経過（第1期生、第2期生）
- ・資料7・・・事前アンケート等一覧
- ・様式・・・私から見た小矢部市の現状と課題等について
- ・参考資料
 - ①「みんなで歩む しあわせ 10年計画 ～第6次小矢部市総合計画～」
 - ②「みんなで考えようおやべの予算―平成22年度小矢部市予算の概要―」
 - ③「ふるさとガイドおやべ」
 - ④ 第1期生「研究成果報告書」
 - ⑤ 第2期生「研究成果報告書」

小矢部市告示第 34 号

小矢部市まちづくり研究会設置要綱を次のように定める。

平成 20 年 5 月 30 日

小矢部市長 桜井 森 夫



小矢部市まちづくり研究会設置要綱

(目的)

第 1 条 小矢部市の将来に向け、新しいまちづくりの方策等について、次世代を担う市民と市職員とが協働して研究することを目的として、小矢部市まちづくり研究会（以下「まち研」という。）を設置する。

(研究内容)

第 2 条 まち研は、前条の目的を達成するために、次に掲げる研究を行う。

- (1) 本市を取り巻く現状と諸課題に関すること。
- (2) 将来のまちづくりに関すること。
- (3) 先進地の事例に関すること。
- (4) その他目的達成のために必要な事項に関すること。

(組織)

第 3 条 まち研は、次の各号の委員（以下「まち研委員」という。）及び過去にまち研委員又はまち研事務局員を経験した者で構成する会（以下「OB会」という。）の会員 5 人以内をもって組織する。

- (1) 市民（市内に勤務する者を含み、原則として 50 歳未満） 8 人
- (2) 市職員（原則として 40 歳未満） 8 人
- (3) その他市長が特に必要と認める者

2 まち研委員は、市長が委嘱する。

3 まち研委員の任期は、委嘱の日から委嘱した日の属する年度の翌年度の末日までとする。

(役員等)

第 4 条 まち研に次に掲げる役員を置く。

- (1) 座長 1 人
- (2) 副座長 1 人
- (3) 監事 2 人

2 座長及び副座長は、まち研委員の中から市長が指名する。

3 座長は、会務を総括し、まち研を代表する。

4 副座長は、座長を補佐し、座長に事故あるとき、又は座長が欠けたときは、その職務を代理する。

5 監事は、OB会員の中から座長が指名する。

6 監事は、まち研の会計を監査する。

(会議)

第 5 条 まち研の会議は、座長が招集し、会議の議長は座長が務める。

2 座長は、必要に応じて、有識者の出席を求めることができる。

(分科会)

第6条 具体的なテーマの研究を行うため、まち研に分科会を置く。

2 分科会は、まち研委員で構成する。

3 分科会に分科会長を置く。

4 分科会長は、座長が指名する。

5 分科会は、分科会長が招集する。

6 分科会長は、必要に応じて、有識者の出席を求めることができる。

(役員会)

第7条 まち研の運営に関する事項を調整するため、役員会を置く。

2 役員会は、座長、副座長、監事及び分科会長で構成する。

3 役員会は、座長が必要に応じ招集する。

(連絡会)

第8条 まち研に連絡会を置く。

2 連絡会は、まち研とOB会との連絡調整を行う。

3 連絡会は、座長主宰のもとに、まち研委員及びOB会員のうちから10名以内で構成する。

(報告)

第9条 まち研は、研究した成果について、市長に報告するものとする。

(事務局)

第10条 まち研の事務局は、民生部市民協働課に置く。

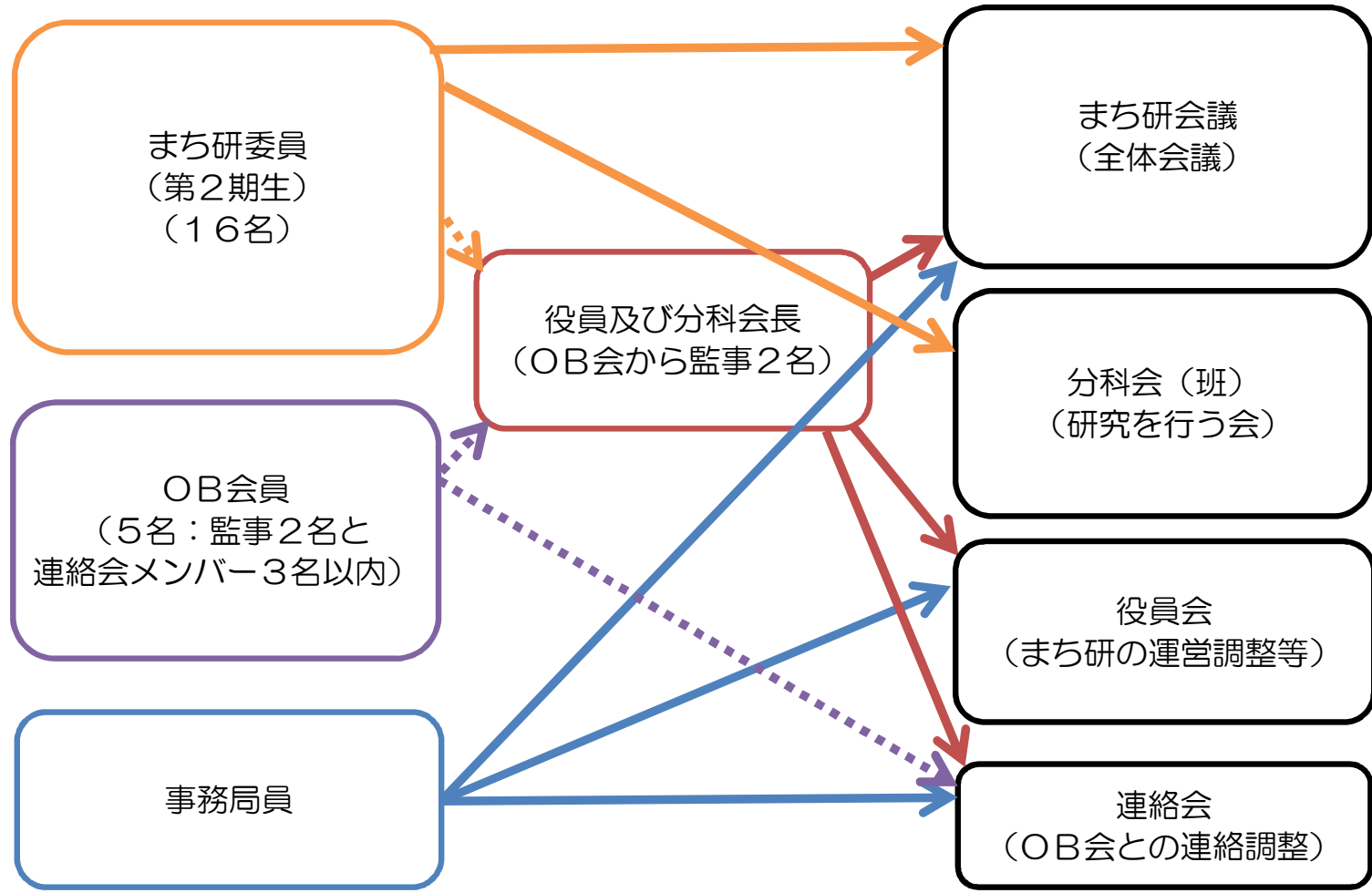
(雑則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、まち研委員の協議により定めるものとする。

附 則

この告示は、公表の日から施行する。

小矢部市まちづくり研究会の組織図



小矢部市まちづくり研究会の研究内容等

○具体的な研究内容の例示

- ・北陸新幹線の開業を見込んだまちづくりの研究
- ・東海北陸自動車道、能越自動車道などの高速交通網を活かしたまちづくりの研究（並行在来線、市内交通網の整備も含む）
- ・高速道路のIC3箇所（小矢部、小矢部東、福岡）を持つ地域的特性を活かしたまちづくりの研究
- ・中心市街地や地域の活性化策の研究
- ・その他商業、農業、文化、観光等との連携及び振興に関する研究
- ・行政効率日本一にとどまらず、住民満足度も日本一を目指した市役所組織の在り方等の研究

（例えば）

- ・小矢部の特産品を活かした「食のまちづくり」の提案
- ・小矢部の特産品の創設とその生産から販売までの一貫した提案
- ・伝統文化・芸能と産業（商工業）との融合策
- ・少子高齢化に対応し、後継者問題も加味した「楽しい農業」の提案
- ・あるテーマに特化したニュータウンの創設（リンゴの街、バラの街、カレーの街）
- ・国際化に対応した提案（今後の労働力不足対策として、市内に外国人団地を創設し、積極的に受入をし、新たなコミュニティエリアをつくる・・・リトルブラジル、リトルチャイナ等）
- ・道州制が導入され、州都が金沢市に置かれることを見込んだ衛星都市としてのまちづくりの提案

○平成22年度活動計画

- ・全体会 3回
- ・分科会 5回程度
- ・先進地視察 1回（1泊2日）
- ・中間報告会 1回
- ・その他必要に応じて、役員会や連絡会を開く。

○平成22年度予算

- ・まちづくり研究会事業費 350,000円

○まち研委員

- ・市民委員 { 団体推薦（6人）・・・小矢部青年会議所2名、JAいなば青年部1名、小矢部市商工会2名、小矢部市企業協会1名
市民公募（2人）・・・市報（4月号）等により募集
（※市内に勤務する者も対象とする）
- ・市職員 公募等（8名）・・・公募等により選考

小矢部市まちづくり研究会（第3期生）委員等名簿

資料4

区分		役職	性別	氏名	備考	
まち研委員（第3期生）	市民委員	一般公募	座長	男性	のて 野手 みつぐ 貴	
				女性	あらたに 荒谷 まさこ	
	市民委員	団体推薦		男性	わたなべ 渡邊 かつあき 克明	小矢部青年会議所推薦
			副座長	女性	いわた 岩田 ちなみ 千波	小矢部青年会議所推薦
				男性	きのした 木下 ひろあき 浩明	J Aいなば青年部推薦
				男性	にしむら 西村 てつや 哲也	小矢部市商工会推薦
				女性	むらにし 村西 みどり	小矢部市商工会推薦
				女性	たけべ 武部 よしこ 佳子	小矢部市企業協会推薦
	市職員委員	職員公募		男性	たかた 高田 こういち 康一	産業建設部農林課
				男性	のと 能登 ひろし 啓之	教育委員会文化スポーツ課
				男性	なかがわ 中川 としあき 利昭	企画室企業立地推進課
				男性	まつだ 松田 みつひろ 充弘	民生部市民課
				女性	あおやま 青山 ちえみ 千恵美	民生部健康福祉課
				女性	おだ 小田 ゆかり 友加里	民生部市民課
				女性	おく 奥 ゆかり 由香理	民生部正得保育所
			女性	かんだ 神田 はるか 春佳	民生部埴生保育所	
OB会員	市民委員	監事	男性	よしうら 義浦 ひであき 英昭	第2期生座長	
	市職員委員	監事	男性	きた 北 よしき 喜樹	産業建設部上下水道課、第2期生第1班班長	

事務局（民生部市民協働課）

職名	氏名
民生部長	まつもと のぶあき 松本 信明
市民協働課長	さの たかし 佐野 隆
市民協働課長補佐	よこがわ かずひろ 横川 和弘
市民協働課主任	まつい たけし 松井 武史

年月	全体会議	分科会など	内容
平成22年 7月1日（木）	第1回会議		委嘱書の交付、運営方法について、市長との懇談会
平成22年8月	第2回会議		現状と課題発表、班（分科会）分け、先進地視察などについて
平成22年9月		分科会	
平成22年10月		分科会	
平成22年11月	先進地視察		
平成22年12月		分科会	
平成22年1月		分科会	
平成22年2月	第3回会議	分科会	中間報告書の最終確認
平成22年3月	中間報告会		市長への中間報告会（分科会ごとに）

会議等名	日時等	内容
委員募集等	H17.6	
第1回会議 (役員会)	H17.7.15 H17.8.18	委嘱書の交付、運営方法の協議、班編成などについて 進め方の基本方針、先進地視察などについて
第2回会議	H17.8.23	小矢部市のイメージ、現状と課題発表
【1班】班別研究会①	H17.9.15	テーマ選定等について
【2班】班別研究会①	H17.9.16	テーマ選定等について
【2班】班別研究会②	H17.10.11	テーマ選定等について
【1班】班別研究会②	H17.10.21	テーマ選定等について
【2班】班別研究会③	H17.11.4	テーマ選定等について
先進地視察研修会	H17.11.27 ~28	【1日目】高島市「マキノピックランド」、米原市「(有)いざめ」、長浜市「まちづくり役場」 【2日目】米原市「米原市役所」
先進地視察研修報告書	H17.12	
【2班】班別研究会④	H17.12.25	調査・研究
【1班】班別研究会③	H18.1.23	テーマ選定等について
【2班】班別研究会⑤	H18.1.29	調査・研究
【2班】班別研究会⑥	H18.2.12	調査・研究
【1班】班別研究会④	H18.2.15	調査・研究・中間報告書作成
【1班】班別研究会⑤	H18.2.27	調査・研究・中間報告書作成
【2班】班別研究会⑦	H18.3.1	調査・研究・中間報告書作成
【2班】班別研究会⑧	H18.3.12	調査・研究・中間報告書作成
第3回会議	H18.3.19	
中間報告会	H18.3.27	

※班別研究会（分科会）については、上記記載のほかに適宜活動（会議）を行った。

小矢部市まちづくり研究会（第1期生）活動経過（平成18年度：2年目）

会議等名	日時等	内容
第1回会議	H18.4.25	2年目の活動方針、学習会、先進地視察について
(役員会)	H18.5.9	班編成、テーマ、先進地視察などについて
第2回会議	H18.5.23	班編成、テーマ、先進地視察などについて
学習会	H18.6.14	南砺ヨスマ倶楽部会長 河合 声一「ヨスマのまちづくり」 桜町石斧の会会長 山本 護「いつまでも少年の心で」
(班長会議)	H18.7.28	先進地視察などについて
先進地視察研修会	H18.9.29 ~30	【1日目】飯田市「飯田市役所」 【2日目】飯田市「南信州観光公社」
第3回会議	H18.10.26	班別研究（報告書の策定） 各班の中間報告、意見交換
第4回会議	H18.11.27	班別研究（報告書の策定） 意見交換
第5回会議	H18.12.18	班別研究（報告書の策定） 班別現状報告、意見交換
(座長・副座長・班長 会議)	H19.1.23	全体内容の事前確認
第6回会議	H19.1.29	班別研究（報告書の策定） 意見交換
第7回会議	H19.2.16	研究報告書の最終確認
研究レポート報告会	H19.2.26	

※班別研究会（分科会）については、上記記載のほかに適宜活動（会議）を行った。

小矢部市まちづくり研究会（第2期生）活動経過（平成20年度：1年目）

会議等名	日時・場所	内容
新まちづくり研究会設立打ち合わせ	○平成20年4月24日（木）午後7時30分 小矢部市役所4階402会議室	○新まちづくり研究会の設立等について、第1期生（OB会）から意見聴取
OB会から新まち研への参加要請等	○平成20年6月13日（金）午後7時30分 小矢部市役所4階402会議室	○第1期生（OB会）から新まちづくり研究会へ、監事としての参加要請など
第1回 全体会	○平成20年7月17日（木）午後7時 小矢部市役所2階特別会議室	○委嘱書の交付 ○趣旨説明、運営方法など ○市長との懇談会
第2回 全体会	○平成20年8月28日（木）午後6時30分 総合保健福祉センター3階視聴覚室	○意見発表（小矢部市の現状と課題）、分科会（班分け）
各班の分科会	○第1班（9/22、10/20、11/10） ○第2班（9/22、10/17、11/17）	○各班研究テーマの選定について
役員会	○平成20年10月14日（木）午後6時40分 小矢部市役所4階402会議室	○先進地視察等について
先進地視察研修	○平成20年11月28日（金）、29日（土） 岐阜県郡上市、愛知県一宮市	○1日目：郡上市役所、郡上八幡のまちなみ、（株）明宝レディース、道の駅「明宝」 ○2日目：138タワーパーク、クックラひるがの、ひるがの高原
各班の分科会	○平成20年12月8日（月）午後6時 津沢コミュニティプラザ	○2班主催の市内産食材を使用した”すき焼き試食会”の開催（1班合流）
第1回 交流会（第1期生との交流）	○平成20年12月13日（土）午後5時30分 魚政亭	○1期生の研究成果や現在の活動状況報告 ○2期生の活動状況報告 ○意見交換
各班の分科会	○第1班（1/15、1/26、3/4） ○第2班（1/20、2/10、2/26、3/5、3/16）	○第1班（小矢部のPR方法など） ○第2班（食を中心に地域ブランドの開発研究など）
OB会との連絡会	○平成21年3月10日（火）午後7時30分 小矢部市役所1階市民協働課	○平成21年度の活動等について
第3回 全体会	○平成21年3月18日（水）午後6時30分 埴生公民館	○中間報告に向けてのリハーサルや意見交換など ○終了後、1班主催の市内産食材を使用した”おやべを味わう会”の開催
中間報告会	○平成21年3月24日（火）午後6時30分 ばんば	○1年目の活動報告 ○各班からの中間報告 ○2年目の活動スケジュール ○市長からの講評

小矢部市まちづくり研究会（第2期生）活動経過（平成21年度：2年目）

会議等名	日時・場所	内容
役員会	○平成21年4月24日（金）午後6時30分 小矢部市役所1階市民協働課	○平成21年度の活動の進め方などについて
各班の分科会	○第1班（5/27、6/9） ○第2班（4/27、5/8、5/15、5/28、6/4、6/8、6/11）	○各班の研究テーマについて、活動に向けた打ち合わせ
【2班】逸品メニューづくり活動①	○平成21年6月13日（土）午前7時 小矢部市総合保健福祉センター	○1%事業補助金活用による「逸品コンテスト」の開催
各班の分科会	○第1班（6/17、6/29） ○第2班（7/2、7/14）	○研究活動
役員会	○平成21年7月9日（木）午後6時30分 小矢部市役所1階市民協働課	○各班の活動状況報告 ○郡上市出向宣伝、源平火牛まつりへの参加などについて打ち合わせ
【1班】マスコットシールでポイント大作戦①	○平成21年7月13日（月）～ 8月13日（木） ○Aコープ「旬感倶楽部」	○プリテストの実施
【2班】逸品メニューづくり活動②	○平成21年7月25日（土）午後9時 源平火牛まつり会場 （前日午後2時から準備）	○逸品メニュー最優秀作品の源平火牛まつりでの「試食提供」及び「アンケート実施」
【1班】マスコットシールでポイント大作戦②	○平成21年7月27日（月）～ 8月5日（水）	○消費者アンケートの実施 （保育所や幼稚園の児童の家族の方を対象）
役員会	○平成21年7月31日（金）午後6時30分 小矢部市役所1階市民協働課	○郡上市出向宣伝活動について打合せ
郡上市出向宣伝	○平成21年8月7日（金）、8日（土） 岐阜県郡上市	○1日目：郡上八幡旧庁舎記念館 ○2日目：クックラひるがの
各班の分科会	○第1班（9/9） ○第2班（8/12、8/25、9/10、9/16、9/24）	○研究活動
食の祭典inぎふ郡上への出店	○平成21年9月25日（土）、26日（日） 郡上市役所大和庁舎 （前日9/24前夜祭）	○逸品メニュー最優秀作品の出店
【2班】逸品メニューづくり活動③	○平成21年10月1日（木）午後2時 小矢部市総合保健福祉センター3階研修室	○逸品メニュー最優秀作品「説明会」の開催
【1班】マスコットシールでポイント大作戦③	○平成21年10月19日（月）～ 10月28日（水）	○事業所アンケートの実施
各班の分科会	○第1班（10/7、11/9、11/16、11/26） ○第2班（10/20、11/16、11/26）	○研究成果報告会に向けて、報告及び提案内容のとりまとめ
役員会	○平成21年10月30日（金）午後6時30分 小矢部市役所1階市民協働課	○研究成果報告会について打ち合わせ
研究成果報告会	○平成21年11月27日（金）午後6時30分 ばんば	○約2年間の研究活動の報告とこれをふまえての提案 ○市長からの講評
第1回 全体会	○平成21年12月18日（金）午後6時30分 小矢部市役所5階502会議室	○報告会をふまえての研究成果報告書の最終調整など
報告書提出	○平成21年12月24日（木）午後4時 小矢部市役所2階市長室	○研究成果報告書の市長への提出等

氏名	事前アンケートの意向調査内容				応募申込書の内容	
	具体の研究テーマ	何班にするか	班のメンバー	班長の諾否	応募の動機	あなたにとって関心のあるテーマ
のて野手 貢	・市民サポーター制度 ・協働のまちづくり (お金も含めた真の意味での)	8人×2班	事務局に一任してもよい。	一任したい。	会社経営の傍ら、青年会議所活動や様々なボランティア活動を体験する中で、多くのまちづくり団体みなさんと関わりをもたせていただき、その可能性や行動力に喜びを覚えました。 小矢部市も今現在、市民協働課の設立、そしてまた、おやべ型1%まちづくり事業への取り組み等 新たな一歩を踏み出している中で、私達市民も更に協力出来る、まちづくりの未来像があるのではないだろうかと思い、このたび応募をさせていただきます。	・市民協働によるまちづくり ・全国のまちづくりの成功例
あらたに荒谷 まさこ	・暮らしやすい(安心・安全)小矢部市	8人×2班	事務局に一任してもよい。	一任したい。	名古屋から嫁いで10年になります。 自分が生まれ育った土地との違いがわかる所が生かせないかと思いました。	・道路、公園、除雪、用水、教育、食、医療
わたなべ渡邊 克明	・地域に適した特産物の開発 ・その特産物の地域企業連携 ・小矢部の特産物を使用したスイーツの開発(著名なパティシエプロデュース)	その他(テーマによって)	会議の中でみんなで話し合っ、決めたい。	一任したい。	団体推薦のためなし	団体推薦のためなし
いわた岩田 ちなみ 千波	・食育の推進活動について ・小矢部ブランドの開発と周知PR活動について	4人×4班	事務局に一任してもよい。	一任したい。	団体推薦のためなし	団体推薦のためなし
きのした木下 ひろあき 浩明	・まちの活性化(人をどうやって集めるか)	8人×2班	会議の中でみんなで話し合っ、決めたい。	引き受けてもよい。	団体推薦のためなし	団体推薦のためなし
にしむら西村 てつや 哲也	・小矢部の特産品について ・まちのあり方 ・小矢部市とは	8人×2班	事務局に一任してもよい。	一任したい。	団体推薦のためなし	団体推薦のためなし
むらにし村西 みどり	今は特にない。	その他(分科会の内容が分からないので)	会議の中でみんなで話し合っ、決めたい。	一任したい。	団体推薦のためなし	団体推薦のためなし
たけべ武部 よしこ 佳子	・特産品のPR法について(メルヘン=バラの活用法) ・高齢者や弱者にも十分手を差しのべられる、人に温かい街になるには。 ・子供に誇れるまちづくり。子供たちが生涯小矢部で生活したいと思える街にするには。	8人×2班	事務局に一任してもよい。	一任したい。	団体推薦のためなし	団体推薦のためなし
たかた高田 こういち 康一	今は特にない。	8人×2班	事務局に一任してもよい。	引き受けてもよい。	採用から十数年。市職員という立場ではありますが、生まれも育ちも、そして今もなお小矢部市外に住まいする、いわゆる「ヨソモノ」の視点で、再度小矢部市を見つめ、まちづくりを考えてみようと思ったから。	・定住人口の減少、少子高齢化の進展、市財政の歳入不足など様々なテーマは考えられますが、特にこだわることなく、みなさんと研究していきたいと考えています。
のよ能登 ひろゆき 啓之	今は特にない。	4人×4班	事務局に一任してもよい。	一任したい。	小矢部市の抱えている諸問題を市民の皆さんと一緒に考え、斬新な打開策に導けたら素晴らしいと思ったので、応募しました。	・定住人口の減少

氏名	事前アンケートの意向調査内容				応募申込書の内容	
	具体の研究テーマ	何班にするか	班のメンバー	班長の諾否	応募の動機	あなたにとって関心のあるテーマ
なかがわ 中川 としあき 利昭	今は特にない。	8人×2班	事務局に一任してもよい。	一任したい。	市民委員の方達と一緒に小矢部市のまちづくりについて調査・研究し、小矢部市のまちづくりに少しでも貢献したいと思い応募しました。また市民委員の方達の考えや思いを、今後の業務にもいかしていきたいと思っています。	・定住人口の減少 ・市財政の歳入不足
まつだ 松田 みつひろ 充弘	・教育・子育ての分野をより強化することにより住民の効用を高めるためにはどうすればいいか。 ・また、それにより小矢部の魅力を全国レベルでPRできるか。	8人×2班	事務局に一任してもよい。	一任したい。	小矢部市民やまちづくりに関心のある方々の意見を聞いて、なおかつ自分自身もまちづくりについて考えることのできる貴重な機会なので応募しました。	・小矢部に特色を持たせるためにどうすればいいか。 ・駅南開発、人口増計画、若者の定住・Uターン ・子どもを育てたいと思わせる環境とは（3人目・4人目の子どもを生んでもらうために行政ができることとは ・今までにない小矢部のPR方法を考えてみる。 ・「まちづくりに必要な基礎」というものは存在するのか。もし存在するとすれば、その基礎は小矢部市にあるのか。 ・金沢から人や金を集めるためにはどうすればいいか。 ・体験型イベントを考える。 ・新しいB級グルメへの挑戦（飲み物・調味料）、商標登録 ・夜店などで手軽に安く出店できる食べ物は何か（個人的にはアメリカンドックが好物） ・バリエーション展開を考える。 ・体験型B級グルメ。 ・手軽にできる、誰にでもできる、明日からできるまちづくりとは。
あおやま 青山 ちえみ 千恵美	今は特にない。	8人×2班	会議の中でみんなで話し合っ、決めたい。	一任したい。	第1期、第2期のまちづくり研究会の委員が、熱意をもって活動している様子を見て、興味を持ちました。活気あるまちづくりについて、いろいろな方と意見交換しながら、少しでも小矢部市のため活動したいと思っています。	・地産地消、観光、若者や女性が集えるまちづくり ・また訪ねたいと思うまちには、限られた時期にしか見ることができないイベントがあったり、そこでしか食べられない逸品があったりします。小矢部にも、多くの祭りや、宮島峡などの見どころや、稲葉牛や卵などの美味しいものがたくさんあります。そんな魅力を、より多くの人に伝えていきたいです。
おだ 小田 ゆかり 友加里	・人口減少化社会に対応したまちづくり ・人口減少のデメリットとメリットを踏まえたうえで、定住に適したまちづくり	4人×4班	会議の中でみんなで話し合っ、決めたい。	引き受けてもよい。	市町村は、日本の縮図だと思います。日本が抱えるさまざまな問題を、各市町村が抱えていると思います。それらの問題は、報道や住民からの声によって知ることができますが、問題とされていることの「何」が「どう」問題なのかは、深く議論する機会がほとんどありません。しかし、問題とされていることの「何」が「どう」問題なのかということは、住民の利益を考える上で欠かすことのできない議論であると思います。「何」が「どう」問題であるかははっきりさせることによって、その問題に対するより効果的な対処法が見つかると思います。スピーディーな対処をするためには、問題の内容について深く議論することは難しいのかもしれませんが。しかしながら、この研究会は即時性のある効果よりも、考える機会を持つことや、さまざまな意見を聞き、意見を調整して結論を出すことが期待されているのだと思います。私はこの研究会に参加することによって、より多くの住民に満足してもらえるような意見の集約方法や多様な考え方を知りたいです。そうして得た、より多くの住民の満足を考えるという習慣は、今後の職務にも生かして行けるものだと思います。	小矢部市における少子化の問題点とその改善策に興味があります。近年、少子化が問題であるとされ、その改善策に関する議論は多いようですが、少子化がなぜ問題であるのかについては、あまり議論されていないように思います。少子化がさらに進行すれば、小矢部市民の生活にどういった影響があるのかを議論し、それを報告することによって、少子化対策の重要性を強く認識することができ、政策についての市民の理解や協力が得やすくなるという効果が期待できます。現在の小矢部市の政策は、少子化を人口の増加によって食い止めようとするものであると思います。しかしながら、日本全体が少子化している中、どこの市町村も人口増加に興味を持っており、住民の奪い合いの様相を呈しています。その中で他市町村と同じことだけをしていても、小矢部市の人口増加は難しいように思われます。そこで、少子化が問題であるとするならば、人口増加政策のみならず、他の方策も組み合わせることによって、その問題を改善する試みが有効であると考えます。少子化の問題点とは何なのか、その問題点は現在の政策以外でも改善可能なのか、また改善可能であるならば、具体的にどのような政策が有効なのか。このような問題意識を持って、小矢部市の少子化について考えたいと思います。
おく 奥 ゆかり 由香理	今は特にない。	8人×2班	事務局に一任してもよい。	一任したい。	私は自然が豊かでのびのびとしたこの小矢部市が好きで、とても魅力のある町だと思います。メルヘン建築やクロスランド、桜町遺跡など他の市にはない魅力が本当にたくさんあると思います。そう思っているのですが、実際いざ遊びに行くとなると市外へ、食事や買い物に行くのも市外へ…といった状態になっているのが現状です。この小矢部のまちがもっと元気に、人が集まり、また行きたいと思うまちになるために、私も市民として少しでも協力ができたらいいなと思ったからです。また小矢部のまちについて、私の知らない魅力がまだたくさんあると思います。この研究会を通してその魅力に気付いたり、またその魅力を他の周りの人たちに知らせていくことができたらいいなと思います。	・商店街活性化 ・観光資源 ・施設の有効活用 ・地場産品（ご当地グルメ・キャラクター） ・イベント（スポーツ・祭りなど） ・まちPR
かんだ 神田 はるか 春香	今は特にない。	4人×4班	事務局に一任してもよい。	一任したい。	よりよい小矢部市となるために、小矢部以外で育ったものの視点で、貢献できることがあればいいと思ったため。	・小矢部市の観光名所や食について

私から見た小矢部市の現状と課題等について

氏名		平成 年 月 日
①私から見た小矢部市の現状		
②私から見た小矢部市の課題		
③私が考えるまちづくりについて（提案）		
④先進地視察先の候補地について（希望調査）		

〒932-8611 小矢部市本町1番1号 小矢部市民生部市民協働課

Tel 0766-67-1760（内線733） Fax 0766-67-5520

E-mail takeshi.matsui@city.oyabe.lg.jp（電子様式をご希望の方は、このアドレスに希望する旨送信いただければ、添付して返信いたします。字数については特に定めません（2枚以上でも可）。様式についても上記の項目を満たす内容であれば、この様式以外でも差し支えありません。）

平成22年7月23日（金）までに、FAX等でご提出ください。